

弘前大学農学生命科学部地域環境工学科農業土木コース
平成25年度 教育評議会 記録（案）

日時：平成25年3月21日（金）15：30～17：00

場所：農学生命科学部小会議室（131室）

出席者：〔学外委員〕 田中, 砂沢, 櫻田(隆), 櫻田(清), 山田, 小中, 中村

〔プログラム教員〕 工藤, 泉, 檜垣, 遠藤, 加藤(千), 藤崎, 森, 森谷, 丸居

進行：工藤

記録：丸居

農業土木コース教育評議会規則と委員構成の確認

学外委員として新たに小中, 中村委員を追加し7名の体制とすること、プログラム教員に今年度採用になった教員が加わったこと、委員の任期が25年度、26年度の2年間であることが確認された。

砂澤委員の所属は（株）開発技研に訂正

前回の記録の確認

資料の通り承認された。

議 事

（1）プログラム教員の退職・採用に関する JABEE への変更通知 （資料1）

資料1のようにプログラム教員の変更通知を J A B E E へ提出し承認された旨、説明があり了承された。なお、加藤（千）教員は11月着任であったため変更通知には記載されていない旨、説明があった。

（2）学生の学習目標達成状況（資料2～4）

資料2～4に基づき、今年度修了生の修了要件達成状況と、2, 3年生の成績状況の説明があり了承された。

（3）教育褒賞（資料5）

資料5に基づき、2012年度の教育褒賞は昨年度の教育評議会承認済みであり、2013年度については現在後期分の作業中であり来年度に教育褒賞ワーキンググループで総合評価の高い教員を選定し表彰する予定であると説明があり了承された。

（4）2016年度継続審査への対応（資料6）

資料6に基づき、J A B E E の2012年基準から「学習・教育目標」が「学習・教育到達目標」と変更され、理念ではなく最低限の学生がクリアできる目標を記述することになったこと、「(i) チームで仕事をするための能力」が加わったこと、「デザイン能力」重視されることについて説明があった。継続審査に向けて、学習・教育到達目標とカリキュラム変更の骨格案の説明があり、骨格案を了承し、詳細案を作成していくことが了承された。

委員より、平均点が低い（E）に関する事項を（A）に入れる意図についての質問に対し、卒業認定と J A B E E 修了認定に齟齬が生じているため、そもそも平均点3.0以上

というシステムは廃止する方向である旨が説明され、了承された。

(5) その他

資料7に基づき、学生の就職状況について説明があった。

来年度以降、青森県庁の退職者が多く、募集が増える見込みであると紹介があった。